allcinema

検察側の罪人（2018）

メディア 映画
ジャンル ミステリー　サスペンス
製作国　日本
色彩　Color
時間　123分
初公開日 2018/08/24
公開情報 東宝
映倫　G

【キャッチコピー】
一線を、越える。

【解説】
　雫井脩介の同名ベストセラーを「無限の住人」の木村拓哉と「ラストレシピ ～麒麟の舌の記憶～」の二宮和也の主演で映画化したミステリー・サスペンス。ひとつの殺人事件を巡り、容疑者として浮上した男を自らの正義感からあらゆる手段で追い詰めていくエリート検事と、そんな上司の捜査方針に次第に疑問を抱き始める後輩検事の対立の行方をスリリングに描き出す。共演は吉高由里子、平岳大、大倉孝二、松重豊、山崎努。監督は「日本のいちばん長い日」「関ヶ原」の原田眞人。
　東京地検刑事部のエリート検事・最上のもとに、彼に心酔する若手検事・沖野が配属されてくる。さっそく２人で都内で発生した老夫婦殺人事件を担当することに。すると最上は、被疑者の一人である松倉という男に激しく反応する。松倉はすでに時効を迎えている未解決殺人事件の重要参考人だった。最上は今回の事件も松倉の犯行と確信し、なんとしても松倉を有罪にしなければならないとの強い思いに囚われていく。そんな最上の意を汲み、松倉から自白を引き出すべく取り調べに力が入る沖野だったが…。

【クレジット】

監督	原田眞人	Harada Masato
製作	市川南	
企画・プロデュース	臼井央	
エグゼクティブプロデューサー	山内章弘	
プロデューサー	佐藤善宏	
	西野智也	
協力プロデューサー	鍋島壽夫	
ラインプロデューサー	芳川透	
共同製作	藤島ジュリーＫ.	
原作	雫井脩介	『検察側の罪人』（文春文庫刊）
脚本	原田眞人	Harada Masato
撮影	柴主高秀	
美術	福澤勝広	
衣裳	宮本まさ江	
編集	原田遊人	
キャスティング	杉野剛	
音響効果	柴崎憲治	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

音楽	富貴晴美		
	土屋玲子		
録音	矢野正人		
	鶴巻仁		
照明	大坂章夫		
スクリプター	西岡智子		
装飾	籠尾和人		
	高橋光		
	岩井健志		
ＶＦＸスーパーバイザー	オダイッセイ		
ヘアメイク	酒井啓介		
助監督	桑原昌英		
	谷口正行		
プロダクション統括	佐藤毅		
Ｂカメラ撮影	堂前徹之		
出演	木村拓哉		最上毅
	二宮和也	Kazunari Ninomiya	沖野啓一郎
	吉高由里子		橘沙穂
	平岳大	Takehiro Hira	丹野和樹
	大倉孝二		弓岡嗣郎
	八嶋智人		小田島誠司
	音尾琢真		千鳥
	芦名星		運び屋の女
	山崎紘菜		最上奈々子
	大場泰正		前川直之
	谷田歩		青戸公成
	阿南健治		
	大川ヒロキ		
	田中美央		
	山村憲之介		
	赤間麻里子		
	長田侑子		
	黒澤はるか		
	土屋玲子		
	三浦誠己		
	酒向芳		松倉重生
	矢島健一		高島進
	久保酎吉		
	東風万智子		
	キムラ緑子	Kimura Midoriko	桜子
	松重豊		諏訪部利成
	山崎努		白川雄馬

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.